



資料1

第2期加古川市人口ビジョンにおける 将来展望人口の改訂(案)

令和2年8月

企画部 政策企画課

目次

1. 第1期人口ビジョン

2. 人口動態の現状

- (1) 自然動態の推移
- (2) 合計特殊出生率の推移
- (3) 社会動態の推移
- (4) 転入・転出超過数の推移

3. 将来展望人口の改訂（案）

- (1) シミュレーション（条件設定）
- (2) 将来展望人口のシミュレーション

1. 第1期人口ビジョン

各年10月1日時点
※2020年の市推計人口のみ4月1日時点

第1期人口ビジョンでは、社人研準拠（H22国調）の推計よりも約4万5千人多い2060年の総人口22万人程度の確保を目標としている。

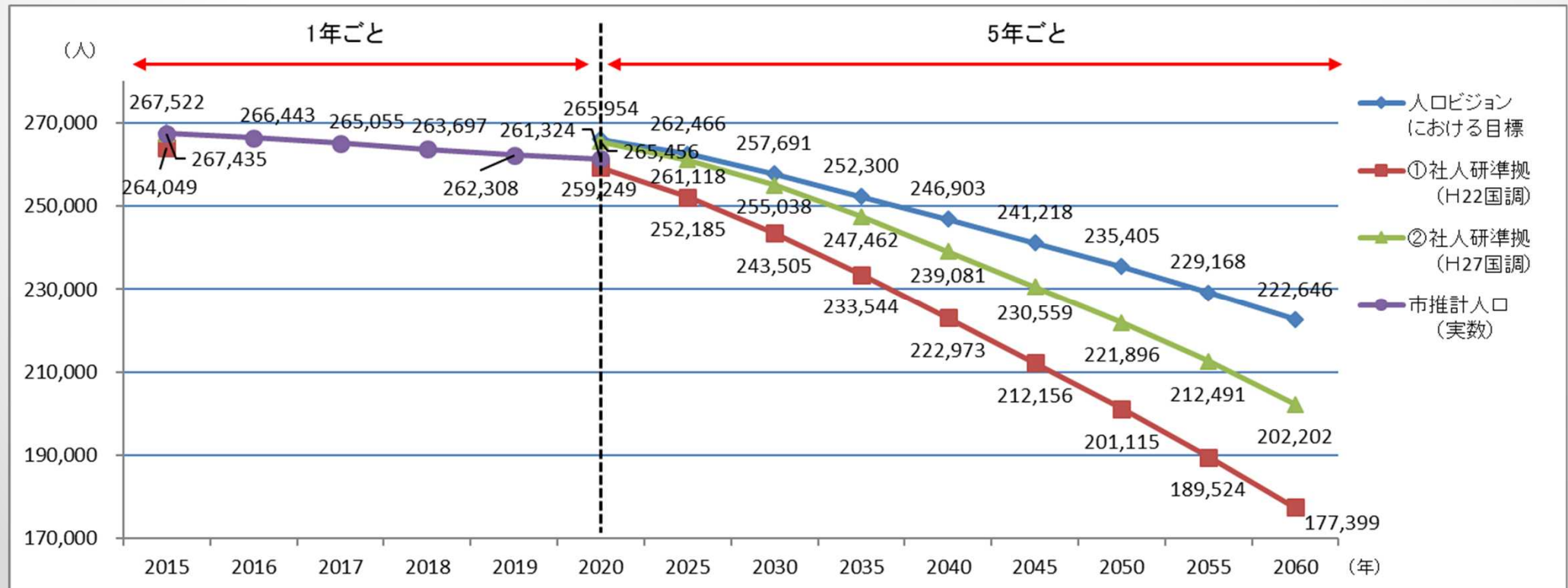
人口ビジョンにおける目標設定(22万人)シミュレーション

○合計特殊出生率

国の見込みどおりに上昇(2030年までに1.8、2040年までに人口置換水準(2.07)まで上昇)すると仮定

○転入者数と転出者数

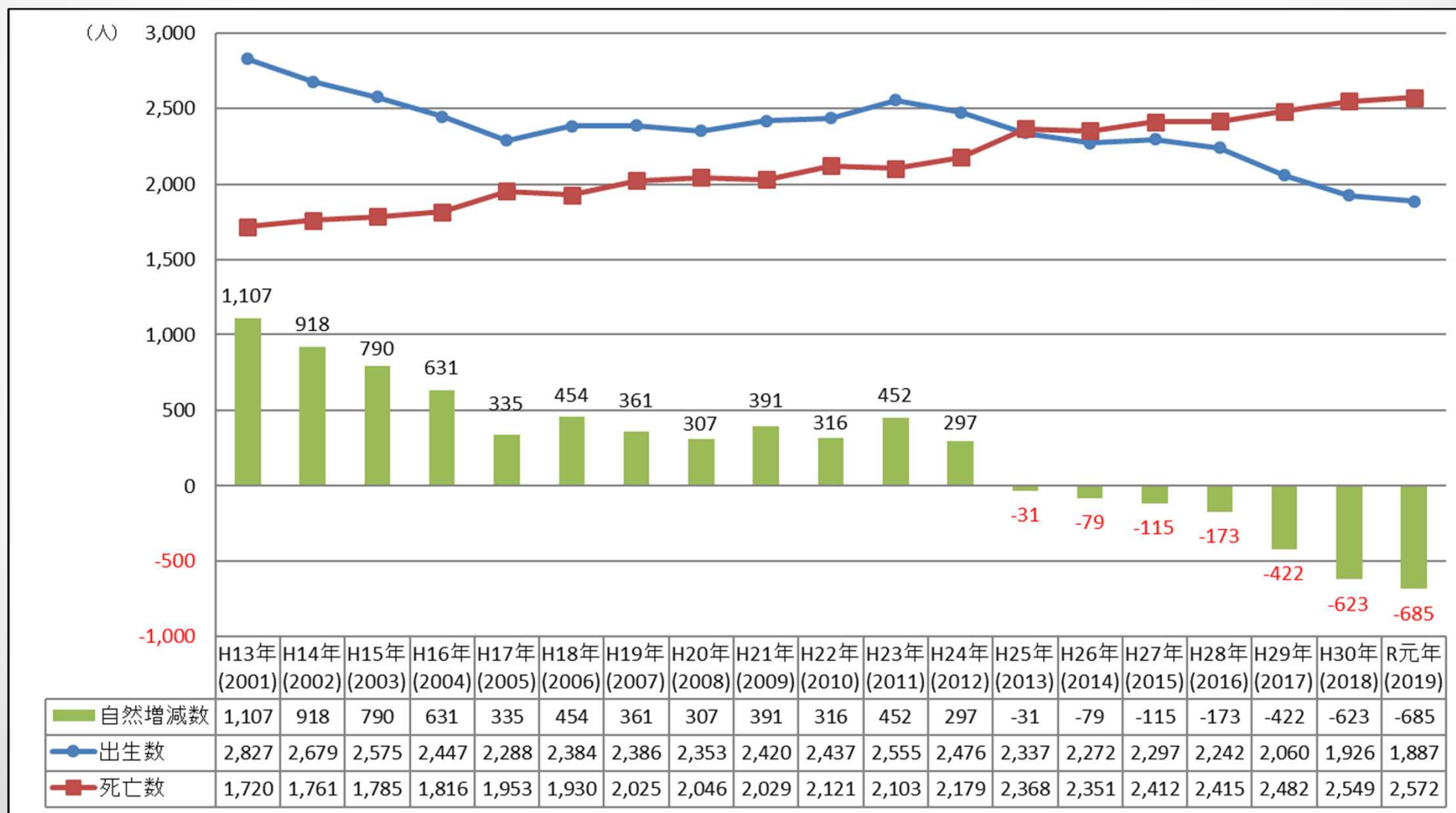
2015年以降均衡(転入転出数が同数となり、移動がゼロとなる)すると仮定



2. 人口動態の現状

(1) 自然動態の状況

(出典)加古川市資料



2. 人口動態の現状

(2) 合計特殊出生率の推移

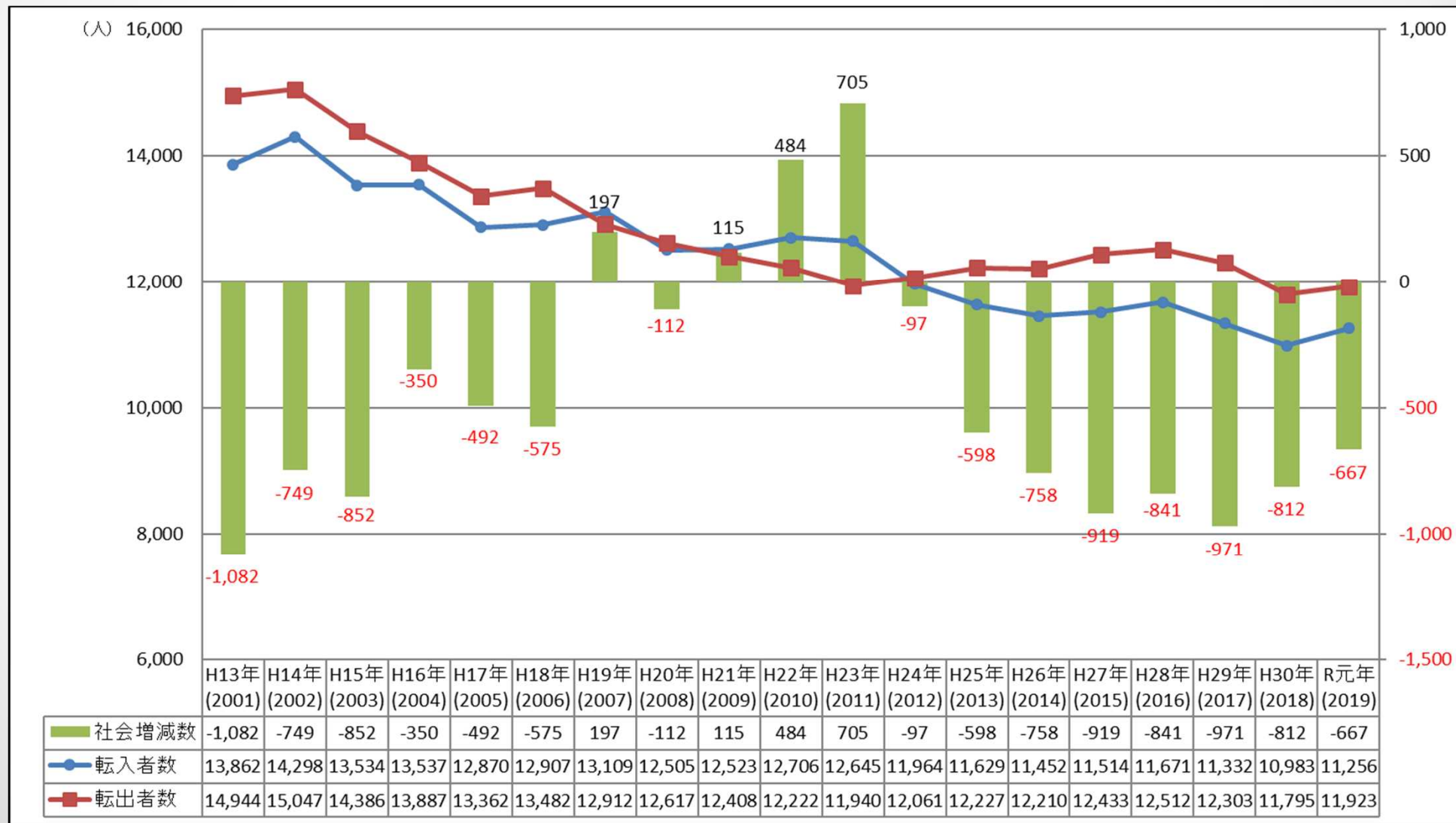
(出典) 兵庫県保健統計年報(国勢調査結果)



2. 人口動態の現状

(3) 社会動態の推移 (町間移動を含む)

(出典)加古川市資料

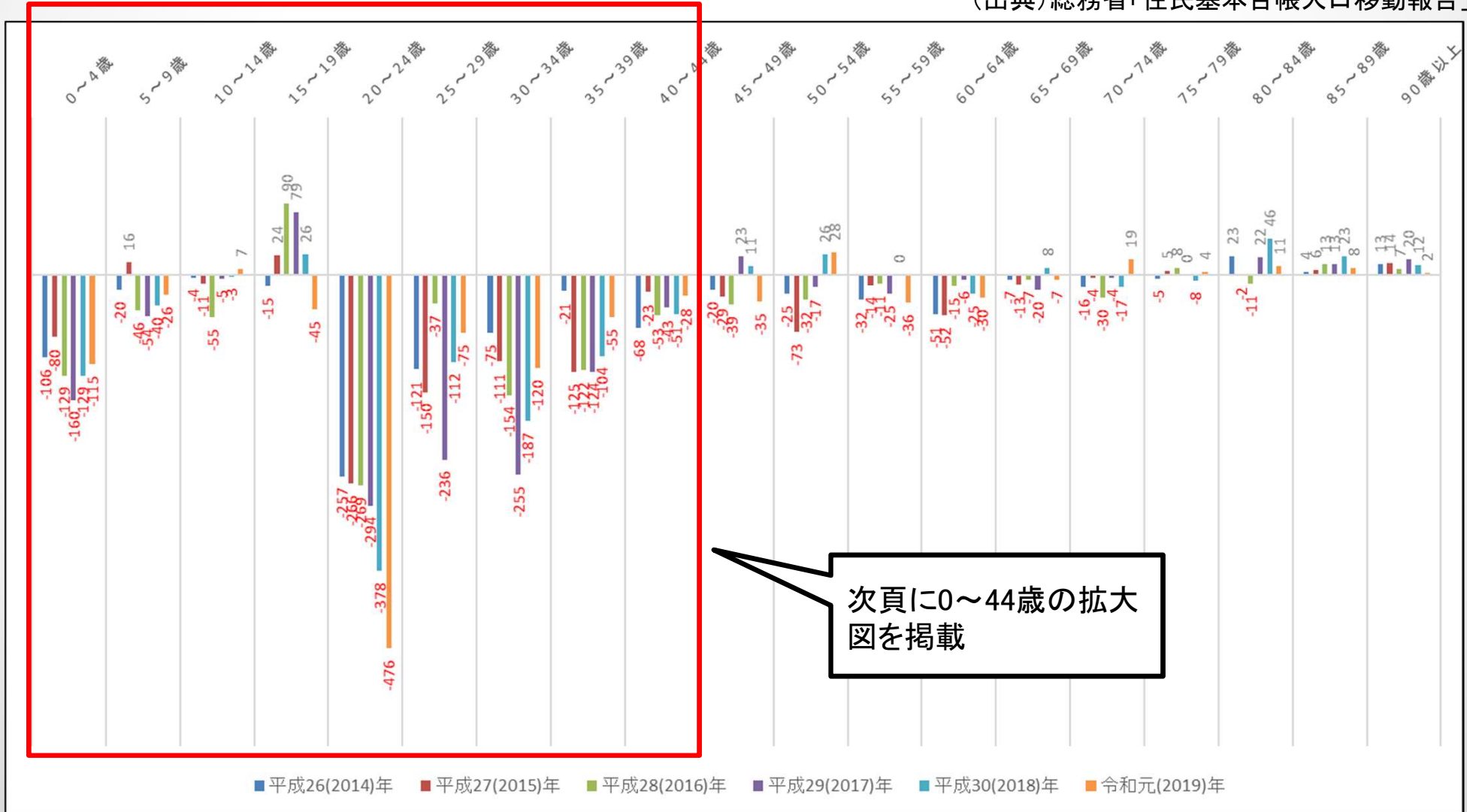




2. 人口動態の現状

(4) 転入・転出超過数の推移 (日本人のみ)

(出典)総務省「住民基本台帳人口移動報告」



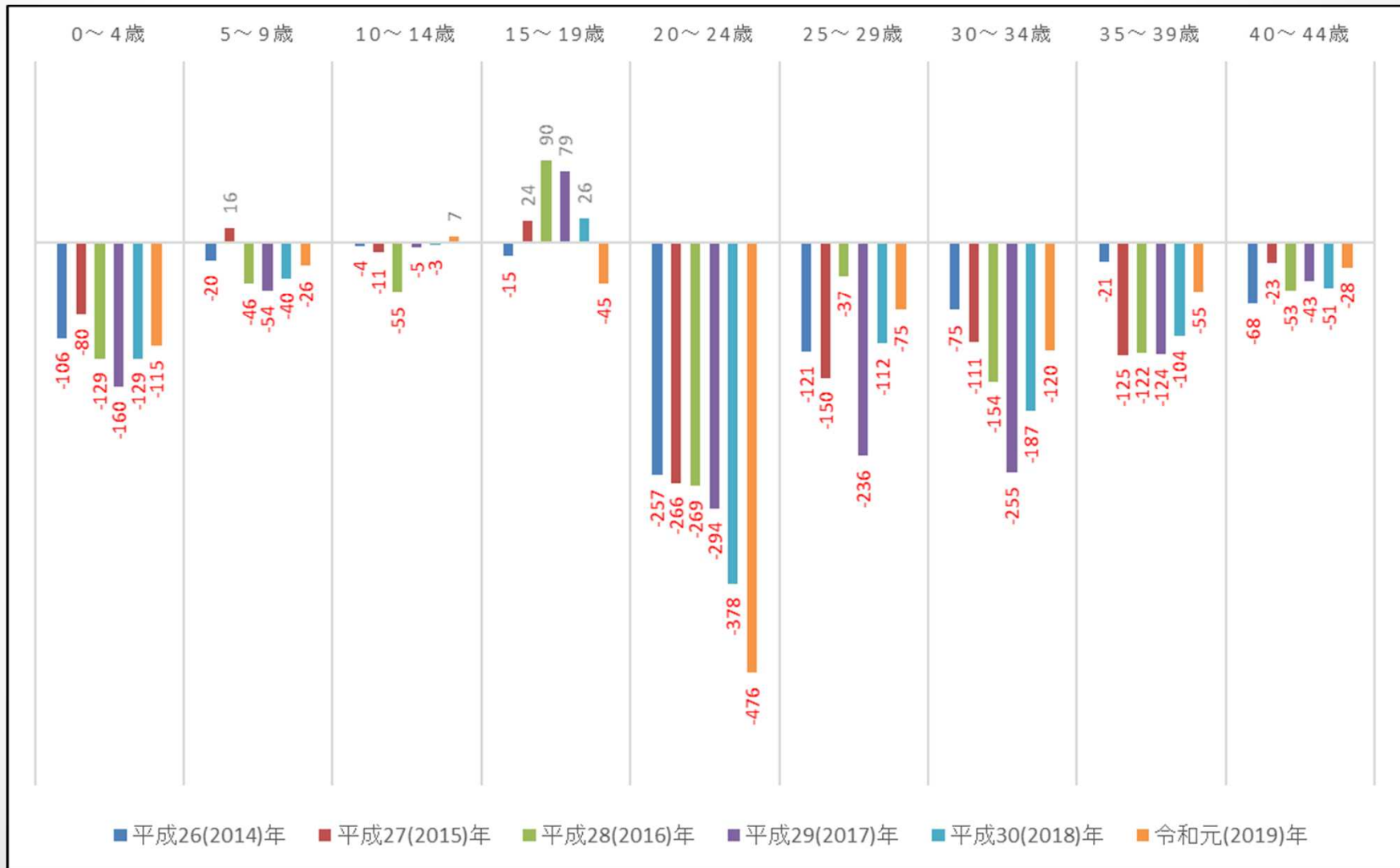
次頁に0~44歳の拡大図を掲載



1. 人口動態の現状

(参考) 0～44歳の転入・転出超過数 (日本人のみ)

(出典)総務省「住民基本台帳人口移動報告」



3. 将来展望人口の改訂（案）

（1）シミュレーション（条件設定）

	合計特殊出生率	純移動率（社会動態）
社人研準拠 （※1）	令和42（2060）年まで 1.5台で推移すると仮定	平成22（2010）年及び平成27（2015年）の人口 （国勢調査（10月1日時点））を基に純移動率 を仮定
市独自推計	同上	平成27（2015年）の人口（住民基本台帳人口： 6月1日時点）と令和2（2020）年の人口（住民 基本台帳人口：6月1日時点）を基に純移動率を 仮定
第2期人口ビジョンの 将来展望（案）	令和7（2025）年まで 1.56（※2）を維持、令 和12（2030）年に国民希 望出生率1.8をめざす （以降横ばい）	市独自推計による純移動率において、転出超過 の大きい20～44歳までと、0～14歳までの純移 動率が令和7（2025）年までに半減し、令和12 （2030）年までに均衡、以降横ばいになるよう に仮定

（※1）国立社会保障・人口問題研究所から発表された「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」の数値に
基づき、総務省が再計算した数値

（※2）平成27年国勢調査における本市の合計特殊出生率

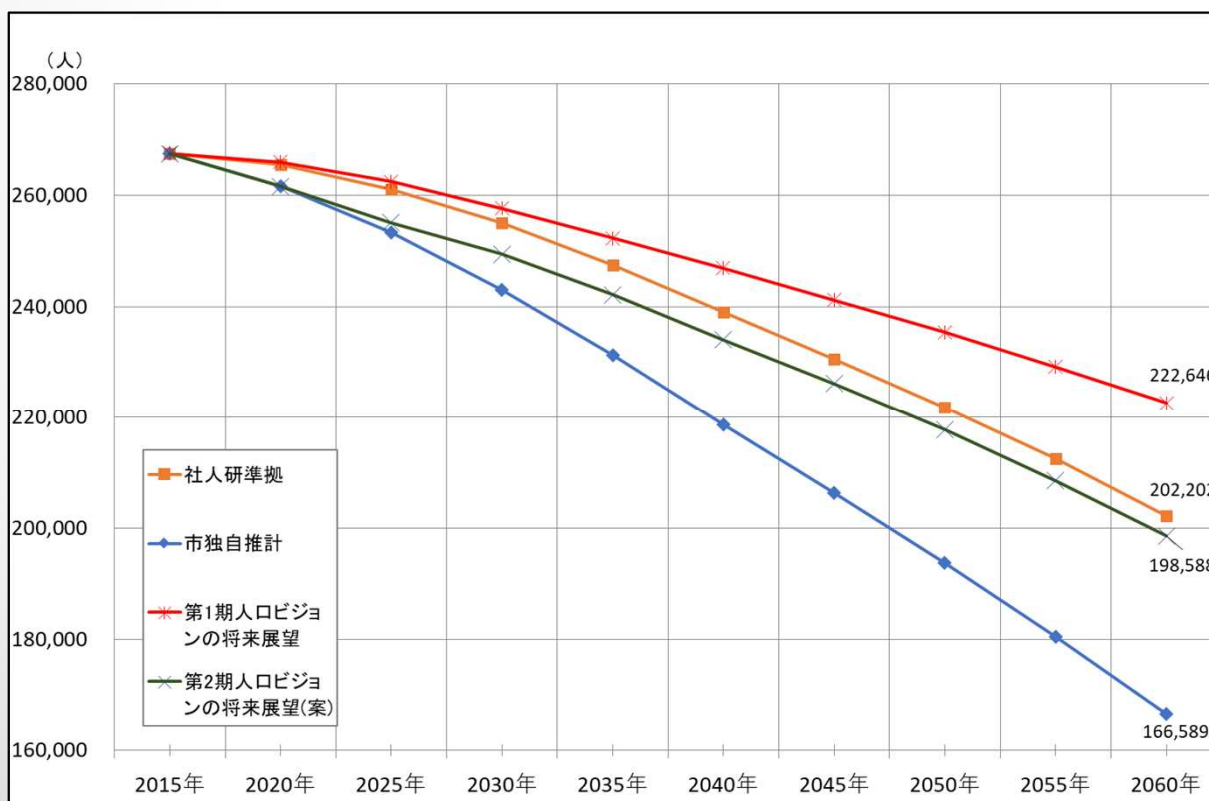
3. 将来展望人口の改訂（案）

（2）将来展望人口のシミュレーション

2015年は国勢調査の人口（10月1日）時点
2020年以降は6月1日時点を示す

（単位：人）

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
社人研準拠	267,435	265,456	261,118	255,038	247,462	239,081	230,559	221,896	212,491	202,202
市独自推計	267,435	261,610	253,288	243,043	231,257	218,685	206,391	193,763	180,490	166,589
第1期人口ビジョン の将来展望	267,522	265,954	262,466	257,691	252,300	246,903	241,218	235,405	229,168	222,646
第2期人口ビジョン の将来展望（案）	267,435	261,610	255,096	249,427	242,149	234,026	226,161	217,761	208,542	198,588



第2期人口ビジョンでは、市独自推計よりも約3万2千人多い、2060年の総人口20万人程度の確保を目標とする。